

令和 6 年 度

豊能町下水道事業会計決算審査意見書

豊能町監査委員

豊能監第11号

令和7年8月13日

豊能町長 上 浦 登 様

豊能町監査委員 田 中 啓

同 針 原 祥



令和6年度豊能町下水道事業会計決算審査意見書の提出について

地方公営企業法第30条第2項の規定により、審査に付された令和6年度豊能町下水道事業会計の決算について審査した結果、別添のとおり意見書を提出します。

目 次

審査の対象及び手続	1
審査の概要	1
1 業務実績について	1
2 予算執行状況について	2
(1) 収益的収入及び支出	2
(2) 資本的収入及び支出	3
3 経営状況について	4
(1) 収益	4
(2) 費用	4
(3) 経営指標	5
4 財産状況について	6
(1) 資産	6
(2) 負債及び資本	7
(3) 企業債	8
総 括	9

(注) 各表中の比率は百分率で表示し、原則として小数点第3位を四捨五入したので、端数処理の関係上、合計と内訳の計が一致しない場合がある。

審 査 の 対 象 及 び 手 続

令和6年度豊能町下水道事業会計の決算審査にあたっては、決算報告書並びに関係諸表が、事業の経営成績及び財政状態を適正に表示しているか、また、地方公営企業法等関係法規により会計処理が正確になされているかなどに重点を置き、それぞれの関係諸帳簿はもとより証拠書類等を照合し、決算計数の確認に努め、事務担当部局に説明を求めるとともに、例月出納検査等の結果を参考にして、慎重に審査を行った。

審 査 の 概 要

1 業務実績について

区 分	令和6年度	令和5年度	比較増減	増減率 %
行政区域内人口①	17,682 人	18,067 人	△385 人	97.87
処理区域内人口②	17,548 人	17,924 人	△376 人	97.90
水洗化人口 ③	17,436 人	17,812 人	△376 人	97.89
普及率 ②/①×100	99.24 %	99.21 %	0.03 %	100.03
水洗化率 ③/②×100	99.36 %	99.38 %	△0.02 %	99.98
年間処理水量	2,058,591 m ³	2,107,842 m ³	△49,251 m ³	97.66
年間有収水量	1,592,624 m ³	1,622,230 m ³	△29,606 m ³	98.17
有収率	77.36 %	76.96 %	0.40 %	100.52

本年度の年間処理水量は2,058,591m³で、昨年度より49,251m³減少しており、増減率は97.66%となっている。

2 予算執行状況について

(消費税含む)

(1) 収益的収入及び支出

(収入)

(単位：円，％)

区 分	予 算 額	決 算 額	予算額に比べ 決算額の増減	収入歩合
営業収益	243,472,000	260,145,251	16,673,251	106.85
営業外収益	1,063,897,000	1,056,948,877	△6,948,123	99.35
特別利益	0	31,791,217	31,791,217	皆増
合 計	1,307,369,000	1,348,885,345	41,516,345	103.18

収益的収入の決算額は1,348,885,345円で、予算額に対して
41,516,345円の増となり、収入歩合は103.18％となっている。

(支出)

(単位：円，％)

区 分	予 算 額	決 算 額	不 用 額	執行率
営業費用	1,213,481,000	1,204,619,787	8,861,213	99.27
営業外費用	33,331,000	26,742,749	6,588,251	80.23
特別損失	9,712,000	4,537,602	5,174,398	46.72
予備費	1,000,000	0	1,000,000	0
合 計	1,257,524,000	1,235,900,138	21,623,862	98.28

収益的支出の消費税を含んだ決算額は1,235,900,138円で、予算額に対し98.28％の執行率となり、21,623,862円の不用額が生じている。この不用額の主なものは、管渠費、総係費などの営業費用である。

以上の結果、収益的収支決算は、収入決算額1,348,885,345円、支出決算額1,235,900,138円で、112,985,207円の黒字となっている。

(2) 資本的収入及び支出

(収入)

(単位：円，％)

区 分	予 算 額	決 算 額	予算額に比べ 決算額の増減	収入歩合
負担金等	2,000	0	△2,000	0.00
国庫補助金	10,000,000	5,000,000	△ 5,000,000	50.00
一般会計繰入金	26,913,000	3,716,000	△23,197,000	13.81
基金繰入金	11,077,000	8,200,000	△2,877,000	74.03
企業債	155,000,000	90,100,000	△ 64,900,000	58.13
合 計	202,992,000	107,016,000	△ 95,976,000	52.72

資本的収入の決算額は107,016,000円で、予算額と比べて、収入歩合は52.72％となっている。

(支出)

(単位：円，％)

区 分	予 算 額	決 算 額	翌年度繰越額	不 用 額	執行率
建設改良費	111,620,000	60,035,904	25,000,000	26,584,096	53.79
基金積立金	181,000	0	0	181,000	0.00
企業債償還金	154,597,000	154,595,665	0	1,335	100.00
合 計	266,398,000	214,631,569	25,000,000	26,766,431	80.57

資本的支出の決算額は214,631,569円で、予算額に対して80.57％の執行率となり、不用額は26,766,431円である。

以上の結果、消費税を含んだ資本的収支決算は、収入決算額107,016,000円、支出決算額214,631,569円で、107,615,569円の不足となり、その不足額は、下水道特別会計からの引継金で補填した。

3 経営状況について

(消費税含まず)

本年度における経営状況は、総収益1,323,336,274円に対し、総費用は1,213,878,951円で、差引き109,457,323円の純利益が生じている。

(単位：円)

年 度	総 収 益	総 費 用	純 利 益
・ 6	1,323,336,274	1,213,878,951	109,457,323

(1) 収益

(単位：円・税抜き・%)

区 分	令和6年度	令和5年度	増減額
営業収益	237,474,390	-	-
営業外収益	1,056,950,320	-	-
特別利益	28,911,564	-	-
合 計	1,323,336,274	-	-

(2) 費用

(単位：円・税抜き・%)

区 分	令和6年度	令和5年度	増減額
営業費用	1,190,829,763	-	-
営業外費用	18,511,586	-	-
特別損失	4,537,602	-	-
合 計	1,213,878,951	-	-

(3) 経営指標

項目	経営指標	指標の意味	豊能町指標			適正な水準
			令和4年度	令和5年度	令和6年度	
経営の健全性・効率性	経常収支比率	営業収益や一般会計繰入金等の収益で、維持管理費や支払利息等の費用をどの程度賄えているかを表す指標 算出式＝（経常収益）÷（経常費用） ×100	—	—	107.04%	100%以上
	流動費率	短期的な債務に対する支払能力を表した指標 算出式＝（流動資産）÷（流動負債） ×100	—	—	164.36%	100%以上
	経費回収率	使用料で回収すべき経費を、どの程度使用料で賄えているかを表した指標 算出式＝（下水道使用料）÷（污水处理費（公費負担分を除く））×100	—	—	110.53%	100%以上
老朽化の状況	有形固定資産減価償却率	有形固定資産のうち償却対象資産の減価償却がどの程度進んでいるかを表す指標 算出式＝（有形固定資産減価償却累計額）÷（有形固定資産のうち償却資産の帳簿原価）×100	—	—	5.73%	低い方がよい
	管渠老朽化率	法定耐用年数を超えた管渠延長の割合を表した指標 算出式＝（法定耐用年数を経過した管渠延長）÷（下水道布設延長） ×100	—	—	11.24%	低い方がよい
	管渠更新率	当該年度に更新した管渠延長の割合を表す指標 算出式＝（当該年度に更新した下水道布設延長）÷（下水道布設延長） ×100	—	—	0.017%	高い方がよい

4 財産状況について

(1) 資産

(単位：円，％)

区 分	令和 6 年度		令和 5 年度		対前年度比較	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率
1 固定資産	19,110,496,170	98.57	-	-	-	-
ア) 有形固定資産	17,770,434,343	91.66	-	-	-	-
1) 土地	1,968,765,000	10.15	-	-	-	-
2) 建物	6,849,240	0.04	-	-	-	-
3) 構築物	15,554,070,948	80.23	-	-	-	-
4) 機械及び装置	239,875,957	1.24	-	-	-	-
5) 車両及び運搬具	156,237	0.00	-	-	-	-
6) 工具器具及び備品	716,961	0.00	-	-	-	-
7) 建設仮勘定	0	0.00	-	-	-	-
イ) 無形固定資産	1,300,758,215	6.71	-	-	-	-
1) 流域下水道使用権	1,295,622,905	6.68	-	-	-	-
2) ソフトウェア	5,135,310	0.03	-	-	-	-
ウ) 投資その他の資産	39,303,612	0.20	-	-	-	-
1) 基金	39,303,612	0.20	-	-	-	-
2 流動資産	277,427,576	1.43	-	-	-	-
ア) 現金預金	213,075,758	1.10	-	-	-	-
イ) 未収金	64,705,818	0.33	-	-	-	-
ウ) 貸倒引当金	△380,000	-	-	-	-	-
エ) 前払金	26,000	0.00	-	-	-	-
合 計	19,387,923,746	100	-	-	-	-

資産合計は、19,387,923,746円で、資産の総額に対する構成比は、有形固定資産91.66％、無形固定資産6.71％、投資その他の資産0.20％、流動資産1.43％となっている。

(2) 負債及び資本

(単位：円，％)

区 分	令和6年度		令和5年度		対前年度比較	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率
1 固定負債	976,236,252	5.04	-	-	-	-
ア) 企業債	976,236,252	5.04	-	-	-	-
イ) 引当金	0	0.00	-	-	-	-
2 流動負債	168,792,383	0.87	-	-	-	-
ア) 企業債	128,779,994	0.66	-	-	-	-
イ) 未払金	37,326,639	0.19	-	-	-	-
ウ) 引当金	2,685,750	0.01	-	-	-	-
エ) その他流動負債	0	0.00	-	-	-	-
3 繰延収益	14,953,916,209	77.13	-	-	-	-
ア) 長期前受金	15,886,518,605	81.94	-	-	-	-
イ) 収益化累計額	△932,602,396	-	-	-	-	-
4 資本金	1,210,756,579	6.24	-	-	-	-
ア) 資本金	1,210,756,579	6.24	-	-	-	-
5 剰余金	2,078,222,323	10.72	-	-	-	-
ア) 資本剰余金	1,968,765,000	10.15	-	-	-	-
1) 国庫補助金	0	0.00	-	-	-	-
2) 受贈財産評価額	1,968,765,000	10.15	-	-	-	-
3) 工事負担金	0	0.00	-	-	-	-
4) その他資本剰余金	0	0.00	-	-	-	-
イ) 利益剰余金	109,457,323	0.56	-	-	-	-
1) 当年度未処分利益剰余金(△欠損金)	109,457,323	0.56	-	-	-	-
合 計	19,387,923,746	100	-	-	-	-

負債総額は、16,098,944,844円で、負債の総額に対する構成比は、固定負債6.06％、流動負債1.05％、繰延収益92.89％となっている。

資本総額は3,288,978,902円で、資本の総額に対する構成比は、資本金36.81％、剰余金63.19％となっている。

(3) 企業債

(単位：円)

区 分	前年度末残高	本年度借入額	本年度償還額	本年度末残高
財政融資資金	806,216,831	30,000,000	91,863,382	744,353,449
地方公共団体 金融機構	176,028,080	0	38,699,283	137,328,797
三井住友銀行	128,258,000	60,100,000	1,017,000	187,341,000
池田泉州銀行	17,342,000	0	1,344,000	15,998,000
大阪北部農業 協同組合	41,667,000	0	21,672,000	19,995,000
合 計	1,169,511,911	90,100,000	154,595,665	1,105,016,246

総 括

豊能町下水道事業は、その経営成績や財政状態を的確に把握し、合理的かつ効率的な事業運営を行っていくため、令和6年度から地方公営企業法の財務規定等を適用し、公営企業会計に移行した。

令和6年度下水道事業会計の決算審査の概要は、前述のとおりである。

決算報告書、財務諸表、その他関係書類は、地方公営企業法第30条第9項の規定により総務省令で定める様式にしたがって作成され、その計数は正確であり、現金は金融機関の預金残高証明書と一致していることを確認し、予算はその目的に沿って適正かつ効率的に執行されていることを認めた。

令和6年度決算における経営状況について、経営の健全性を示す経常収支比率は107.04%で健全経営の水準とされる100%を上回っており、短期的な債務に対する支払能力を示す流動比率も、164.36%で、適正な水準である100%を上回っている。また、使用料水準を評価する経費回収率は110.53%となり、この指標も100%を上回っていることから、事業に必要な経費は使用料収入で賄うことができていると認められる。

豊能町下水道事業においては、将来の人口減少に伴う使用料収入の減少が危惧される。さらに、施設の老朽化に伴う更新費用や耐震化等の防災・減災を目的とした施設改修に係る費用の増加が見込まれるなど、経営環境はより厳しい状況になるものと考えられる。そのような中で、公共下水道事業の現状と今後の情勢を的確に見据えながら、衛生的で快適な生活環境を維持し、公共用水域の水質保全を図っていくためには、経営の健全性が不可欠であることから、今後も、経営改善を念頭に置きながら、ストックマネジメント計画による計画的な管渠の長寿命化を図り、引き続き収益の確保や費用の抑制・最適化等の取組みを総合的に推進し、持続性を持った事業経営となるよう要望する。